

講演者プロフィール



韓国順천시 市長 趙忠勳氏

順천시出身。中央大学校大学院行政学科にて修士課程修了。2002年7月第4代順천시長に就任。2006年6月まで務める。2012年4月に再任。現在2期目。市民が幸福に暮らせる地域づくりのために、湿地生態系の保全、ならびに庭園都市、エネルギー自給自足都市の構築に向けた取り組みに力を注いでいる。2013年、庭園博覧会としては韓国初の順天湾国際庭園博覧会2013を開催、その目的を急速な都市の拡大から湿地生態系を守ることに定めた。

鹿児島県出水市 市長 渋谷俊彦氏

1967年東洋大学経済学部を卒業後、1968年4月より6年間代議士秘書として勤務。1982年から1995年まで、出水市議会議員を4期務める。その間、副議長、監査委員として活躍。1999年6月より旧出水市長として2期務め上げた後、2006年4月合併後の出水市長に就任。現在3期目を迎え、日々、市政発展のためにたゆまぬ努力を払っている。趣味は、読書と散歩。



山口県周南市 市長 木村健一郎氏

山口県周南市出身。早稲田大学法学部卒業後、1981年5月司法書士事務所開業。2003年4月山口県議会議員選挙に当選。2011年4月周南市長に当選し現職。現在2期目。趣味は読書、めだかの飼育、ネコと散歩。座右の銘は「和して同ぜず」。



新潟県佐渡市 市長 甲斐元也氏

東京農業大学を卒業後、1970年新潟県庁入庁。佐渡農政事務所所長、下越農政事務所所長、地域農政推進課課長、糸魚川地域振興局局長などを歴任。2006年県庁退職。同年より2年間社団法人新潟県農林公社の理事長を務める。2008年7月佐渡市副市長に就任。2012年4月佐渡市長に就任、現在に至る。趣味は、風呂でリラックスすることと料理。

島根県出雲市 市長 長岡秀人氏

岡山大学法文学部を卒業後、法務省法務教官を経て平田市職員となる。1999年7月に平田市助役、2003年4月に平田市長となる。2005年3月、市町合併により誕生した新「出雲市」で、市長職務代理者、助役、副市長を務め、2009年4月に市長就任。現在2期目。「げんき、やさしさ、しあわせあふれる縁結びのまち 出雲」の実現を目指し日々取り組んでいる。趣味は、読書、囲碁、ゴルフ。





宮城県大崎市 市長 伊藤康志氏

1968年宮城県小牛田農林高等学校卒業。1987年4月宮城県議会議員に初当選。以後、5期連続でトップ当選。2005年7月第33代宮城県議会議員に就任。2006年5月大崎市の初代市長に就任。現在3期目。一般財団法人宮城県青年会館理事、宮城県バイアスロン連盟会長としても活躍中。趣味は温泉めぐり、小旅行。特技は相撲と柔道。座右の銘は「耕不尽」。著書に『東北発「豊かさ」探求』（笹氣出版）がある。

兵庫県豊岡市 市長 中貝宗治氏

京都大学法学部を卒業後、1978年に兵庫県庁に入庁。県職員時代の1987年に大阪大学大学院経済学研究科経営学専攻前期課程を修了。1990年兵庫県庁を退職し、翌1991年4月、兵庫県議会議員に当選、以後3期務める。2001年7月豊岡市長に就任。2005年5月に市町合併による新「豊岡市」の市長に就任。現在3期目。好きな言葉は、“夢はでっかく 根は深く”、“願うこと 願い続けること 投げ出さないこと”。



徳島県 知事 飯泉嘉門氏

東京大学法学部を卒業後、1984年4月自治省入省。その間、山梨県総務部財政課長、埼玉県企画財政部財政課長、郵政省通信政策局地域情報化プロジェクト推進室長、総務省自治税務局企画課税務企画官などを務める。2003年徳島県知事に就任、現在に至る。全国知事会地方創生対策本部副本部長や全国知事会総務常任委員会副委員長などとしても活躍中。趣味は柔道、弓道、ピアノ演奏。



小山市 市長 大久保寿夫氏

1948年小山市寒川地区に生まれる。京都大学卒業後、東京大学大学院修士課程修了。1973年農林水産省入省、全国の農政業務に尽力。1986年外務省勤務。在中国日本国大使館一等書記官として3年間赴任。トキの橋渡し役を務め、自然の重要性を認識。1990年岡山県勤務。地方自治体の立場で行政職務を担当し、国営汚泥除去事業の創設に尽力。1997年農林水産省本省・室長、1999年関東農政局建設部次長を経て、2000年7月小山市市長に就任。現在4期目。

東京都市大学 教授 涌井史郎氏

神奈川県鎌倉市出身。造園家・ランドスケープアーキテクト。人と自然の空間的共存を図る造園技術をベースに、数多くの作品や農村・水源地域・地方都市の活性化計画などを手がける。岐阜県立森林文化アカデミー学長、名古屋環境大学・学長、愛知学院大学・特任教授、中部大学・東京農業大学客員教授。国連生物多様性の10年委員会委員長代理をはじめ、多くの役職を務める。『景観から見た日本の心』（NHK版）、『いなしの智慧～ 日本社会は「自然と寄り添い」発展する』（ベスト新書）など、著書多数。

